

もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



月刊アフリカニュース

2014年5月1日

No. 11

目次		ページ
ザンビア経済月報	1
セネガル政治・経済月報	2
ベナン政治・経済月報	3
モロッコ政治・経済月報	3
ルワンダ政治・経済月報	4

ザンビア月報（2014年3月）

主要な経済ニュース

- 3日、銅価格に影響を及ぼす外的要因。
- 5日、ザンビア政府、零細中小企業の成長を約束。
- 5日、トヨタザンビア、CFAOと合併。
- 14日、ザンビア政府、南アフリカとの黄熱病に関する協定を見直し。
- 14日、ザンビア政府、国境管理法案を提出。
- 14日、クワチャの不安定性は経済成長への脅威。
- 14日、ルサカ南部複合経済特区のたばこ処理プラント建設に進展。
- 16日、ザンビア政府、日本へさらなる投資を呼びかけ。
- 21日、ザンビア開発庁、重点産業のリストを改正。
- 22日、ザンビア政府、クワチャの運用を捻出。
- 24日、ザンビア政府、債務レベルの安定化に留意。
- 25日、政令の廃止は財政赤字を軽減 —ザンビア経済協会。
- 31日、ザンビア中央銀行、インフレ抑制に乗り出し。

<http://www.zm.emb-japan.go.jp/ja/keizai/Macro.Report.3.2014.pdf>

セネガル月報 (2014 年 3 月)

主な出来事

【 内政 】

- 3 日、前政権の不正追及。
- 6 日、地方分権改革にともなう公務員の身分改革。
- 7 日、地方選挙に掛る選挙法の改正。
- サル大統領は 17 日から 19 日にかけてジガンショールを訪問し、「カザマンズ開発拠点プロジェクト (PPDC: Projet pôle de développement de la Casamance)」の開始を発表した。
- サル大統領は選挙法の改正をめぐる与野党の対立に関し、最高得票制・比例代表制の割合については野党及び無党派層の主張を認める形の裁定を下した。
- 首相府は 25 日のサル大統領就任 2 周年に際し、「現状報告・有言実行 (Bilan d' Etape: ça a été dit, c' est fait)」と題する文書を発表した。
- 24 日、セック保健相はエボラ出血熱阻止の対策を発表。
- 28 日、2013 年国勢調査の仮結果の発表、人口 12,873,601、成長率 2.5%。

【 外政 】

- 6 日、サル大統領はカーボヴェルデ訪問。
- 多国籍海軍演習、6 日~14 日 米、仏、英島 11 ヶ国参加。
- 28 日、サル大統領はヤムスクロ (コートジボワール) で開催された第 44 回 ECOWAS 首脳会合に出席した。
- 31 日、サル大統領はドイツを訪問し、メルケル首相と会談を行った。

【 経済 】

- サル大統領はセネガル新興戦略 (PSE) に農業・インフラ・エネルギーを重点分野とすることを求めた。
- 元国連工業開発機関職員のモハメド・ブン・アブダラー・ジョン氏がセネガル新興戦略 (PSE) 担当大臣及び PSE 実施オペレーション事務所 (BOSSE) の長に任命された。
- 2015 年中に法人税の現行 30%から 25%への引き下げ発表。
- セック農業大臣は年間 6 万 8000 トンの野菜・果実の輸出を 2017 年までに 15 万 7000 トンへ増加計画、本年落花生の買い取りを 22 万 4,952 トン、綿花 2 万 8,817 トンと発表。
- 中国 Qingdao Golden Rocknut 社は落花生加工施設に 20 億 Fcfa の投資決定。
- イラン企業 Seniran 社は同社工場に 500 億 Fcfa の追加投資を行い、年間 6,000 台の生産を目標とする旨発表。

【 経済協力 】

- 世銀は現在セネガルで実施中の 12 億 Fcfa の支援に加え、PSE 実現のため、さらに 4,245 億 Fcfa の支援を行うことを発表した。
- アラブ・アフリカ開発銀行は P S E に 550 億 Fcfa の供出表明。
- フランスは総額 856 億 Fcfa の協力協定に署名、高速道路、灌漑農業、小中学校の建設。

<http://www.sn.emb-japan.go.jp/pdf/jp/sn/geppou1403.pdf>

ベナン月報 (2014年3月)

主な出来事

【内政】

- 5日、約300人のベナン学生連盟 (UNSEB) の学生が、政府が労働組合の要求事項を受け入れ、早期に授業が再開されることを求めて、コトヌ市のエトワールルージュからデモを行った。12日、UNSEBは、同様のデモを行おうとしたが、警察により制止された。
- 7日、恒久電子化選挙人名簿 (LEPI) 修正に関し、LEPI 更新指導監督評議会は、ヤイ大統領に、12日から LEPI の掲示を開始する旨報告した。かかる掲示については、政府の広報が不十分であるため、一部の地域では、住民に対して十分に周知されておらず、結果、掲示が4月6日まで延長されることになった。
- 18日、教育分野の公務員組合3団体は、20日から4月21日まで、ストライキを一時中断する旨発表した。

【外政】

- 27日、ヤイ大統領は、ガーナを訪問し、マハマ大統領と会談した。同会談では、昨今減少しているガーナからベナンへの電力供給を、再度増加する旨合意された。
- 28日及び29日、ヤイ大統領は、コートジボワールで開催された ECOWAS 首脳会議に出席した。

<http://www.bj.emb-japan.go.jp/j/pdf/geppo.pdf>

モロッコ月報 (2014年3月)

経済主要動向

●マクロ経済動向

- ・近年、年率平均5%弱の経済成長率を維持。ただし、2012年は農業不作等の影響で2.7%まで落ち込んだ。2013年は豊作等のため成長率は4.8%にまで回復。
- ・貿易赤字と経常赤字の状態が定常化。2012年には経常赤字がGDP比10%となった。
- ・財政赤字も増加傾向にあり、2012年の単年度財政赤字はGDP比7.6%を計上、累積赤字は同比59.6%に達した。

●貿易・投資

- ・FTAを積極的に締結 (対EU、米国、トルコ、エジプト、チュニジア、ヨルダン等) (合計55ヶ国)。
- ・2008年まで貿易額は順調に拡大 (ただし、貿易赤字も拡大)。2009年は世界経済危機の影響で減少したが、2010年以降は回復傾向。
- ・工業フリーゾーンを設置し投資を促進 (タンジェとケニトラに自動車産業フリーゾーン、2013年にはカサブランカに航空産業フリーゾーン (MIDPARC) を開設)。
- ・モロッコへの海外直接投資は、「アラブの春」の発生にもかかわらず、2011年以降増加傾向。

●インフラ整備

- ・運輸、物流のハブ拠点となることを目指し、インフラ整備を精力的に実施。
- ・大型港の整備を実施中: 第1タンジェ地中海港(貨物取り扱い規模 300 万 TEU)は 2007 年に開港(50TEU拡張工事中)。第2タンジェ地中海港(規模 500 万 TEU)は 2015 年までには開港予定。
- ・カサブランカータンジェ間に高速鉄道 LGV (Ligne à Grande Vitesse) を建設中、2016 年までに完成予定。

●鉱業

- ・リン鉱石公社 (OCP ; Office Chérifien des Phosphates) は、ジョルフ・ラスファール (Jorf Lasfar) 開発プロジェクト(港湾整備, 外資によるリン酸肥料工場の建設)を進めており、実現すれば世界最大規模のリン酸肥料製造拠点となる。

●エネルギー

- ・2009 年 11 月、太陽エネルギー発電に関するプロジェクトを発表。700 億ディルハム(90 億米ドル)を費やし、2020 年における太陽エネルギー利用の発電容量を 2000MW に拡大する。2015 年には一部のサイト(ワルザザート)を稼働する予定。
- ・2020 年における発電容量のうち、再生可能エネルギーが占める割合は 42% (うち太陽光 14%, 風力 14%, 水力 14%)とする計画。

●観光

- ・モハメッド 6 世国王は、2010 年の外国観光客数 1 千万人を目標とする「Vision 2010」を発表(2001 年)。2011 年 11 月、2020 年に向けた「Vision 2020」を発表。
- ・外国からの観光客数は順調に増加し、2012 年における観光客数は 937 万人。

<http://www.ma.emb-japan.go.jp/pdf/keizainisshi/Morocco-Keizai-Josei-Report-2013.pdf>

ルワンダ月報 (2014 年 3 月)

主な出来事

【内政】

- 8 日、第 11 回政府リトリートが開幕し、250 名の政府高官が出席した。
- 社会保障制度改革に向けた協議。

【外政】

- 2 月 27 日 14 名の警察官を国連コートジボアール活動に追加的に派遣した。
- 2 月 28 日北京において、ルワンダ・コミュニティはジェノサイド 29 周年追悼式典を開催、中国政府、在中国国連代表者などが出席した。
- 7 日、ルワンダ外務協力省は、南アフリカがルワンダの反体制派に隠れ場所を提供しているとして抗議する意味で 6 名の南アの外交官を国外に追放した。
- ECA・ルワンダ関係—通貨統合に向けた手続きが開始された。
- 14 日、1994 年のツチ族に対するジェノサイドに関連して、フランスの重罪裁判所は、パスカル・シムビカングワ被疑者に対し 25 年の実刑判決を言い渡した。

【経済】

- ルワンダ政府による長期国債発行。応募率 140%、金利 11.625%で取引完了。
- ルワンダ開発局（RDB）によれば、2013年のルワンダの観光業収入は2億9360万米ドルとなり、2012年の2億8180万米ドルを上回った。また、2013年の観光客数は、2012年の107万6000人から約6万1000人増加し、113万7000人となった。

【経済協力】

- EU ピエバルクス開発担当相は栄養失調児削減と農業支援のために3,000万ユーロの贈与に署名。
- USAIDはカヨンザ郡ミゲラ給水システムに240万ドルを供出した。約3万人に安全な水の供給が行われる。
- 世銀理事会はルワンダの社会的保護制度の拡張・管理のために7,000万米ドル（4,600万ドル借款、2,400万ドル無償）の支援を承認した。さらに、6,900万米ドルの資金供与も承認され、道路整備、農業の生産性向上に使われる。
- 中国政府によれば、中国・ルワンダの貿易量は大きくないが、2013年には2.4億米ドルで、前年の50%増である。中国のルワンダ投資も2013年には260万米ドルに達して今後の大きな潜在性を示しているとの事である。

http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda_news_2014.3.pdf